平成 23 年 10 月 24 日

各　　位

会社名　株式会社ウェッジホールディングス
代表者名　代表取締役社長　田代　宗雄
（コード 2388　大証ＪＡＳＤＡＱ市場）
問合せ先　執行役員経営管理本部長　浅野　樹美
（TEL　03 － 6225 － 2207）

タイ洪水被害の当社グループへの影響について（第２報）

当社の連結子会社である Group Lease PCL（以下、ＧＬ）における、この度のタイ国内での洪水発生に伴う影響に関しまして、平成 23 年 10 月 23 日現時点で確認されております事項をご報告いたします。タイ国内は各種報道にもありますように洪水が長期化しており、首都バンコクの一部にも浸水が始まっております。ＧＬの被害は、現在のところ限定的であります。今後新たな状況が判明次第、お知らせいたします。

記

１．当社の被害確認方法

当社といたしましては、ＧＬは極めて重要な子会社であることから今回の洪水に関しましては、一般的な報道等の情報収集とともに、以下の施策により現地の情報を、できる限り生に把握するように努めております。

① 当社会長であります此下竜矢が直接現地にて現状確認を行っております。当社会長の此下は、タイ並びにASEAN諸国においての実務経験が長く、当社グループにおいて最も現地情勢に通じておりますことから自ら現地において滞在し、情報収集並びに対策活動を行うこととしました。また、同人はＧＬの取締役も兼務しておりますので、ＧＬの業務の状況把握も行っております。

② ＧＬのマネージメントとの情報交換を行っております。ＧＬとはかねてより、役職の兼務をはじめとして情報交換、実務レベルでの交流を行っておりますが、現在さらに、洪水による影響につき、適時情報の把握に努めております。

③ タイ国内の昭和ホールディングスグループ各社との情報交換に努めております。当社が所属します、昭和ホールディングス株式会社の関連会社であるASUKA　FOODS　THAILAND　CO.LTD.社はタイ現地法人として活動を行っております。当社としては多方面から可能な情報収集に努めております。

２．ＧＬへの影響と対策状況について

ＧＬのアユタヤ支店の状況につきましては、すでに平成 23 年 10 月 20 日にお知らせいたしておりますように営業停止の状況にありますが、現時点ではその他に主だった被害状況の変化はありません。ＧＬはアユタヤ支店以外に、バンコク本社、ならびに、タイ最大の工業地帯であります、バンコク東部からラヨーン県にかけてのイースタンシーボード地域に３支店、タイ東北地方のナコンラチャシマ

県に１支店を有しております。このうち、イースタンシーボード並びに東北地方は、現在報道されております洪水が発生しております地域には該当いたしません。今後とも、影響は起こらないと予想しております。

（ＧＬ周辺道路状況）



バンコク本社につきましてはバンコクの中で比較的北よりの地区にあり、現在一部報道で浸水防止のための活動が報道されておりますプラパー運河（クロン＝運河、プラパー＝水道、バンコクの水源となる運河）から、東に約１．４キロの地点に所在しております。現在のところ、ＧＬ本社の周囲並びに、プラパー運河からの道路などに浸水はなく、道路など通常通りの使用が可能な状態で、商店、飲食店、バーなども通常どおり営業しております。また、現在浸水の可能性が取りざたされておりますドンムアン空港から南へ約 10 キロの位置となります。

なお、ＧＬ所在地にまで大規模な浸水があるとは予想しておりませんが、万一の浸水の場合に備えて対策を進めております。一例をあげますと、すでに先週より、重要書類、各種事務機器、オートバイなどの重要な資産等はすでに同社所有の本社社屋の３階ならびに、４階に移動させており、被害を最小化する手立てを実行しております。

（ＧＬオートバイ退避状況）



３．その他タイ国内の洪水に関する報道に関して

当該プラパー運河は堤防が決壊したとの一部報道がありますが、当該運河には堤防は存在していないという認識が正しいと考えております。（これはもう一か所報道に名前の挙がっておりますランシット運河においても同様です）実際にはＧＬから７キロほど北（上流）の場所から下流に向けては、運河沿いにコンクリートの防水壁が約２Ｍの高さで設けられております。同地点から上流は通常の水面から３０から５０センチメートルほど道路が高いだけで、特に防水施設がございませんでした。この壁のない地域において水面が上昇し、水が漏れだしているというのが現状です。

タイ政府並びにバンコク都、ノンタブリ県は当該地域に土嚢並びにショベルカーでの浚渫、および、土の積み上げによる昼夜を問わず、土手の急造を行っており、また、水門並びに、各種工事による水

の他の運河への排出を行っております。現在のところ一定の成果を上げております。

４．今後の展望

ＧＬの事業は、過去最大で 3 年間の間に契約された営業債権(ポートフォリオ)から生じる利息収入により現在の売上高が構成されております。この度の洪水の影響に伴い新規契約数減少の影響が当面見込まれますが、現在のところ、アユタヤ支店のみにおいて大きな影響があり、バンコク本店を含め、その他の拠点においては大きな影響は出ておりません。今後、新規契約数の昨年に対する伸びが鈍化する可能性がございますが、既存の契約から発生する利息収入はすべて継続していることから、現時点での直接の全社業績への影響は限定的と考えております。

上記のとおり、現時点ではＧＬの営業活動への直接的な影響は一部にとどまりますが、今後洪水が拡大する、または長期化した場合の影響、大きな情勢の変化などが判明した場合には、適時皆様にお知らせしてまいります。

またタイ国内で被災された方々に心よりの哀悼の意とお見舞いの念を表明させていただきます。当社といたしましても東日本大震災の折にタイ国民からの多くの支援の手が差し伸べられたことに感謝し、今回の水害について、当社グループとしてできる限りの支援を行っていきたいと考えております。

此下当社会長よりのコメント

ＧＬ本社近辺は現在、道路等乾いております。この週末の土日、祝日となっております本日もＧＬは通常どおり営業しております。ＧＬの営業は通常、土曜日日曜日においても審査部門、顧客対応部門などが営業しておりますが、現在のところ、大きな影響はなく通常営業を続ける予定です。

（ＧＬ社内状況 10 月 23 日（土曜日））



以上